

ぶらり

奥州散歩道

Vol.3

きょうづか
経塚山

(前沢区生母字二子)
ふたご



頂上付近から西方を眺める

さ

わやかな新緑の季節を迎える奥州市。今回は、草木との鮮やかなコントラストが美しいツツジと、区内随一の眺望を同時に楽しむことができる前沢区の経塚山をご紹介します。

すぐ東側の束稲山に對峙するように、前沢区と平泉町のちょうど境にそびえたつ経塚山。ヤマツツジやレンゲツツジの群生地として知られている束稲山・経塚山周辺は、いよいよ5月中旬ごろから見ごろを迎えます。ふもとから頂上付近が赤く染まったのを確認できるようになれば見ごろの合図です。

県道長坂束稲前沢線沿いから、頂上までの道のりは、「東北自然歩道」の一部として遊歩道が整備されている、ちょっとしたハイキングコース。ツツジに彩られた頂上付近まで約500mの遊歩道を、案内プレートに導かれながら約20分。上り坂を登

りきつたところ、「東屋」を取り囲むように辺り一面に広がる満開のツツジは、ボリューム感にあふれ、呼吸を整えるのも忘れられるほどの迫力です。

経塚山の名称は、平泉文化が繁栄していたころの、藤原秀衡の納経所であったと言われている石（経塚石）に由来しています。東屋からさらに奥の頂上付近にあるこの石のそばには、源義経が馬を乗り回したときにできたといわれている、馬蹄石と呼ばれる岩もあります。

標高484mの頂上からは、正面に見える駒ヶ岳・焼石連峰を背景に、雄大な北上川の流れると胆沢扇状地が一望できます。美しい蛇行を見せる流れの傍らには、平泉文化とかかわりの深い白鳥館遺跡も確認できます。奥州藤原氏の歴史の寝息も感じる経塚山で、さわやかな散策を楽しんでみませんか。



編集後記

ゴールデンウィーク期間中は、各区の祭りやイベントが盛りだくさんで、広報担当者も手分けをして取材に。特に初めて見るイベントなどには、新たな発見もありました。限られた紙面のため、身近な出来事を十分に掲載することはできませんが、今月から始まった「みんなの広場」と合わせ、より親しみのある紙面に作りに努めたいと思います。

出演者大募集!!

広報おうしゅうでは、次のコーナーへの出演者を募集しています。自慢のお子さんを市内の皆さんへ紹介してみませんか。

■募集するコーナー『わが家のアイドル』

生後6カ月から3歳ぐらいまでのお子さんの写真を募集します。住所、氏名（ふりがな）、生年月日、続柄、父母の名前を記入して奥州市役所企画調整課広報係までお送りください。

